

■ プロジェクト型共同研究奨励費

1. 目的

本制度は、本学の学術の振興を図り、社会に寄与する教育・研究活動の一層の拡充に資することを目的とし、将来的に発展性のある優れた着想を持つ共同研究かつ研究成果が期待される共同研究について研究費を支援するものです。

2. 募集内容

対象期間	2024年7月1日～2026年3月31日（2年）もしくは 2024年7月1日～2027年3月31日（3年）
交付額	700万円まで（年額300万円を上限とする）
申請資格	本学の専任教員を研究代表者とし、研究開始年度の4月1日現在で博士の学位取得後7年未満または40歳以下の研究者を含む本学所属研究者5名から10名（特別の必要がある場合は、更に学外者を3名まで研究分担者に加えることができる）で組織する共同研究
申請方法	所定の様式による計画書を作成し、所属長の内諾を得て、コラボフロー「研究制度申請・変更届」にて提出。
受付期間	2024年4月1日（月）～5月7日（火）17:00【厳守】
審査方法	研究推進委員会の議を経て、学長が交付を決定します。 交付が決定した場合は大学教育研究評議会に報告されます。
審査基準	つぎのポイントを中心に評価を行なった上で、総合評価する。 ① 研究目的は具体的かつ明確に設定されていること。 ② 研究計画は十分に練られ、その進み方が堅実なものとなっていること。 ③ 研究の推進に十分貢献するような研究組織が構成されていること。 ④ 研究経費の内容は妥当であり、有効に使用されていることが見込まれること。 ⑤ 購入を計画している設備備品等は研究計画上、必要欠くべからざるものであること。 ⑥ 研究成果が期待できること。 ⑦ 若手研究者の育成に配慮したものであること。 ⑧ 追手門学院大学研究者総覧に登録された過去5年間の研究業績。
受給要件	研究成果を学術論文としてまとめ、学術雑誌等において発表し、それを研究推進委員会に報告すること。 研究代表者は本学から2025年度もしくは2026年度の科研費を申請すること。 年度ごとに研究推進委員会へ中間報告すること。報告結果によっては交付期間中であっても研究費の交付を打ち切ることがある。

3. 申請上の注意

申請にあたっては「追手門学院大学プロジェクト型共同研究奨励費制度に関する規程」をよくお読みください。

4. 研究費の使途

申請書に記載した各費目の額にしたがって使用するものとする。研究の進捗状況等により研究費の使用内訳について各費目の額を変更しようとする場合には、所定の手続きを経て許可を得なければならない。ただし、軽微なものを除く。

5. 執行上の注意

研究費の執行マニュアルをよく読んだうえで、執行してください。